

平成31年度五條市立野原中学校 国語科シラバス

< 3年間のねらいと学習目標 >

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、わが国の言語文化に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

< 教科用図書 >

1年「国語1」 2年「国語2」 3年「国語3」 (光村図書出版)

< 評価の観点について >

観点	評価対象	内容	割合
関心 意欲 態度	提出物・準備物・態度・発表	国語に対する関心を深め、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。	20%
話す 聞く	スピーチ・聞き取り・テスト	自分の考えを豊かにしたり深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話し、的確に聞き取ることができるか。	15%
書く	作文・感想文・テスト	自分の考えを豊かにしたり深めたりして、相手や目的に応じて筋道を立てて適切に文章を書くことができるか。	15%
読む	テスト	目的に応じて、さまざまな文章を的確に読み取ったり、読書に親しんだりできるか。	25%
言語	朗読・文法・漢字・書写(文字)・テスト	表現と理解に役立てるための音声、語句、語集、文法、漢字、伝統的な言語文化などについて理解し、知識を身につけているか。また、文字を正しく整えて速く書くことができるか。	25%

< 年間計画 1年生 >

学期	教材(単元)	目標
1	言葉に出会うために	音声の働きや仕組みについて理解し音読に生かす。
	1、学びをひらく	いろいろな言葉に触れながら、学習の見通しをもつ。
	2、新しい視点へ	説明の工夫をとらえながら、ものの見方を広げる。
	文法の学習	言葉のまとまりを理解する。
	読書生活を豊かに	さまざまな作品を読み、たくさんの言葉や人物たちと出会いながら本の世界を味わう。
2	3、言葉をつなぐ	豊かな表現に触れ、言葉の持つ力を考える。
	書写の学習	楷書の書き方を確かめる。
		楷書に仮名を交えて書く。
		行書の書き方を学ぶ。
4、つながりの中で	文章の展開に着目して、心情や事実をとらえる。	

	5、いにしへの心に触れ	古典の文章に出会い、現代とのつながりを考える。
	読書に親しむ	読書を通してさまざまな人の生き方や考え方に触れ、自分のものの見方や考え方を広げる。
3	6、論点を捉えて	事実と意見の関係に注意しながら、内容を考える。
	7、自分を見つめて	作品や生活と向き合いながら、ものの見方を広げる。
	文法の学習	単語の性質を理解する。
* 年間計画は、あくまでも予定ですから変更することもあります。		

<年間計画 2年生>

学期	教材(単元)	目標
1	1、広がる学びへ	さまざまな文章に触れ、言葉の豊かさに気づく。
	2、多様な視点から	構成を捉え、説明の工夫を考える。
	文法の学習	自立語で活用する単語について理解する。
	読書生活を豊かに	読書を通して時代や国境を越え、たくさんの人物たちとの出会いを楽しむ。
2	3、言葉と向き合う	表現を味わい、言葉の世界を広げる。
	書写の学習	行書を書いて確かめる。
		漢字と仮名を調和させて書く。
		楷書か行書を選んで書く。
	4、関わりの中で	さまざまな関係を捉え、考えを深める。
	5、いにしへの心を訪ね	昔の人のものの見方や考え方に触れ、古典に親しむ。
読書に親しむ	読書を通してさまざまな状況やそこに生きる人の姿に触れ、自分の考えを深める。	
3	6、論理を捉えて	根拠を明確にした説得力のある表現を学ぶ。
	7、表現を見つめて	多様な表現に触れ、自分の経験と重ねながら理解を深める。
	文法の学習	付属語で活用する品詞・敬語について理解する。
* 年間計画は、あくまでも予定ですから変更することもあります。		

<年間計画 3年生>

学期	教材(単元)	目標
1	1 深まる学びへ	表現の豊かさを味わい、生き方を考える。
	2 視野を広げて	さまざまな表現を捉え、ものの見方を深める。

1	文法の学習	文法のまとめをする。
	読書生活を豊かに	移り変わる時代の中で、人々の心が変わらず流れ続けるものを、読書を通じて感じ取る。
2	3 言葉を見つめる	言葉と心のつながりを感じる。
	4 状況の中で	状況を捉え、人の生きる姿や社会について考えを深める。
	書写の学習	これまでに学習したことを生かして、行書とそれに調和する仮名で文章を書くことができる。
	5 いにしへの心と語らう	作品の背景を想像して読み、古典の心を今に生かす。
3	読書に親しむ	読書を通して世界の人々の姿を知り、人間の生き方や社会の在り方について考える。
	6 論旨を捉えて	対象を評価しながら、自分の考えを広げ深める。
	7 未来に向かって	言葉と心について考えて深め、今までとこれからを見つめる。
	3年間の復習	今までの学びを振り返り、問題に取り組む。
* 年間計画は、あくまでも予定ですから変更することもあります。		

<家庭学習について>

先生からのメッセージ	私たちはたくさんの方々の言葉の中で生きています。どの言葉を選んで、どう相手に伝えるかによって、伝わり方も違ってきます。状況や場面に応じた適切な言葉を考え、選ぶことが大切です。相手の思いをくみ取りながら、自分の思いを正しく表現できるように、地道に家庭学習を続けていきましょう。
予習	①教科書の本文を音読したり黙読したりする。 ②意味のわからない語句や漢字を辞典で調べる。
復習	①新出漢字を熟語で数回書いて覚える。 ②内容が理解できるまで本文を読み込む。 ③ワークブックなどの問題をよく考えて解く。
テスト対策	①教科書などの本文を通読する。 ②ノート・ワークブック・文法の本などを見直して復習する。 ③授業中にノートをしっかりととり、ワークブックなどの宿題も日頃からしっかり取り組んでおく。
実力アップのポイント	①日頃からしっかりと発音を心がける。 ②宿題はていねいに落ち着いて取り組む。 ③頭の中でイメージをふくらませながら文章を読むようにする。 ④日頃から、読書に親しみ、新聞を読む。 ⑤状況や場所に応じた適切な言葉づかいをするように心がける。